

各社のデータ基に 経営計画立案学ぶ

群馬建設協経営
レポートセミナー

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は22日、「建設業経営レポートセミナー」を前橋市の群馬建設会館で開いた。写真。日本マルチメディア・イクイップメント（東京都千代田区）の高田守康社長と、ファイルース（千葉県四街道市）の青柳六郎太代表が登壇。経営事項審査や入札のデータを基に作った建設会社個社の経営レポートを配り、経営計画の立て方や問題点の見つけ方などを講義した。18社から30人が参加した。

冒頭、青柳会長は「個別の企業の経営分析から建設業の未来を展望する、幅広い内容だ」とセミナーを紹介。「それぞれの企業にとって有意義なセミナーになることを祈念している」と話した。

セミナーでは高田氏が経営状況や業界内のポジションを可視化し問題点を発見



する「コックピット経営」、経営改善の着眼点などを説明。「自社の受注率をデータ化して地域内での自社の強さを客観的に把握すれば、落札できない入札に参加してしまふ『無駄打ち』でコストや時間を消費することを防げる」と話した。

青柳代表は建設業のキャッシュフロー経営を解説。「利益をたくさん出しても倒産することは数多い。収支のバランスを注視し、より収入が多くなるように工夫していくことが最も大切だ」とした。

協がー 建ナ 馬建 群セ データから経営学ぶ 会員企業18社30人参加

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は22日、2023年度建設業経営レポートセミナーを、前橋市の群馬建設会館で開いた。写真。会員企業18社30人が参加し、経審や入札落札のデータなどに基づく経営分析、経営計画を学んだ。共催は群馬県建設業青年経営者部会（篠原玄洋部会長）。



青柳会長は「経営を自分の立ち位置からデータで考えてみる、時代の変化を見据えたセミナーとなっている。それぞれの企業の中長期的な戦略

を描く指針になればと思っ

ている」とあいさつした。

セミナーでは、日本マルチメディア・イクイップメントの高田守康代表取締役が、▽自社の経営状況や業界内のポジションを可視化して問題点を発見する「コックピット経営」▽経営改善の着眼点と基本的手法▽建設業のDX（デジタルトランスフォーメーション）経営とは？―について解説し、「建設業は1時間当たり、どれだけの付加価値を稼いでいるかという物差しが必要になる」との考えを示した。

続いて、ファイルースの青柳六郎太代表が、建設業のキャッシュフロー経営について、「キャッシュを損なわずに利益を増やす経営がキャッシュフロー経営だ」と話した。中小企業向けの優遇制度も紹介した。

群建協

30人が手法学ぶ

経営レポートセミナー



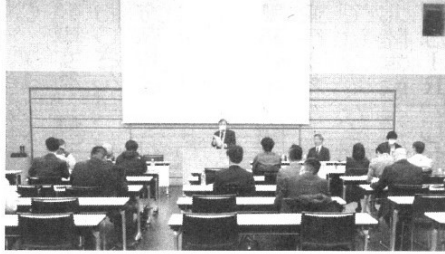
青柳会長

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は22日、群馬県建設業青年経営者部会（篠原玄洋部会長）と共催で建設業経営レポートセミナーを開催した。約30人が参加し、データに基づいた経営分析を学んだ。

青柳会長は冒頭「きょうのセミナーは、特に若い経営者の人たちが経営を自分の立ち位置からデータで考えてみるという、時代の変化を見据えたものとなっている。各企業にとって有意義なセミナーとなることを祈念している」とあい

さつした。

講師は日本マルチメディア・イクイップメント代表取締役の高田守康氏とIT経営パートナーズ協会監事でもあるフアイルース代表の青柳六郎太氏が務めて、セミナーを実施。データに基づいた経営分析と経営計画について、実践的な手法の解説が行われた。



実践的な手法を学んだ